

授業概要

社会はさまざまな社会関係が絡み合う複雑な塊である。この社会学Ⅱでは、社会学Ⅰで学んだような個々の社会関係が、相互にどう影響しあって全体社会を構成しているかについて講義する。家族、職場、学校、地域などに関わりながら生きる現代人が、そのそれぞれの要求に応えようといかに奮闘しているのか、そうした要求に応えるうえでどのような困難があるのかを、具体的な事例を見ながら考える。また、それらの困難が現在、どう解決されようとしているかについても触れ、現代の日本社会とその中に生きる私たち一人ひとりの可能性について考える。なお、この授業は社会学の応用編と位置付けられるが、社会学Ⅰを受講していなくても十分理解できる内容である。

授業計画

第1回	労働から全体社会を考える
第2回	日本的組織の特徴とその変化
第3回	男性の労働とその問題点——働き過ぎ
第4回	女性の労働とその問題点——家庭内労働と雇用労働の両立困難
第5回	女性の就労支援策とその国際比較
第6回	フリーターの労働とその問題点——不安定就労
第7回	働きやすい社会へ向けての取り組み
第8回	役割演技と自己形成のしくみ
第9回	「男性・女性としての私」の形成
第10回	多元的価値を育む社会
第11回	ラベリングとネガティブな役割の引き受け
第12回	「非行少年としての私」の形成
第13回	「障害者としての私」の形成
第14回	バリアフリー社会への転回
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

現代日本社会の諸現象や諸問題について、基本的な知識を持ち、それについて自分なりに整理し、意見を述べられるだけの考察力を身につけること。

履修上の注意

この授業はテキストを用いないので、毎回の授業に出ることは必須です。積極的に出席し、学んだことをもとに社会現象について考えていこうとする、意欲的な態度での受講を期待します。

予習・復習

参考文献リストを利用した自主的学習のほかに、授業で扱ったテーマについての社会観察や考察の課題を出す。その結果は、授業内の小レポート等で報告してもらうことがある。

評価方法

主に学期末試験によって評価する（80%）。数回の授業内小レポート・授業外レポートも考慮する（20%）。

テキスト

とくに定めない。授業では主にプリント資料を使用する。